

◆金権腐敗起こす根源、企業・団体献金の禁止を!!

日本共産党船橋議員団

ミニにゅうす

日本共産党国会議員団千葉事務所 ☎043-241-4251
 [千葉県議] 丸山 慎一 ☎047-424-6347
 <市議団控室☎047-436-3030 FAX047-420-7201>

船橋市議

岩井友子 ☎047-438-8647
 金沢和子 ☎047-422-5278
 かなみつ理恵 ☎047-473-0678 (事務所)
 神子そよ子 ☎047-769-7271
 松崎さち ☎047-432-9317

▲市議団ホームページ

9月議会が始まります

9月3日から37日間の日程で、2 議会定例会が開会します。

024年(令和6年)第3回船橋市 市長からは、補正予算案や人事案

件など11議案と、2023年度決算の認定議案10件などが提案されます。

2024年(令和6年)第3回船橋市議会定例会日程			
月日(曜)	開議時刻	会議別	主な議事
9月3日(火)	10:00	本会議	・市長から議案の提案説明 ・議員から発議案の提案説明 神子、松崎、金沢、岩井の各議員
10日(火)	10:00~	本会議	・議案質疑 岩井友子議員
11日(水)	10:00~	本会議	・発議案質疑の答弁者 神子、松崎、金沢、岩井の各議員
12日(木)	10:00~	本会議	・一般質問 かなみつ理恵議員②
13日(金)	10:00~	本会議	・一般質問 神子そよ子議員⑤
17日(火)	10:00~	本会議	・一般質問 松崎さち議員⑦
19日(木)	10:00~	本会議	・一般質問 金沢和子議員⑥
24日(火)	未定	総務委員会 予算決算分科会	岩井友子議員
25日(水)	未定	健康福祉委員会 予算決算分科会	神子そよ子議員
26日(木)	未定	市民環境経済委員会 予算決算分科会	かなみつ理恵議員
27日(金)	未定	建設委員会 予算決算分科会	金沢和子議員
30日(月)	未定	文教委員会 予算決算分科会	松崎さち議員
10月3日(木)	未定	予算決算委員会全体会	・質疑 岩井友子議員
9日(水)	10:00~	本会議	・議案の採決 ・報告に対する質疑 金沢和子議員 ・閉会

今回、市長から提案された補正予算は約1億円で、6月議会に引き続き、物価高騰や酷暑から市民の命と暮らしを守る予算は提案されませんでした。今回の補正予算成立後の財源調整基金残高は、約202億8千万円。財源は充分あります。税金の使い方が問われています。

日本共産党からは、5つの意見書を提案します。

①緊急避妊薬を全面的にOTC化し、必要とする全ての人のアクセスを保障するよう求める意見書

②生活保護基準を大幅に

続き

- ③ 全ての生活保護世帯にエアコンを設置するよう求める意見書
- ④ 子ども医療費の窓口負担促進
- ⑤ 新型コロナウイルス感染症対策の改善を求める意見書

高齢者の社会参加促進 福祉タクシー拡充を

日本共産党船橋市議団は8月26日、在宅介護を行なっている市民とともに船橋市に対して、「福祉タクシー乗車券(要介護者等)」制度の改善を求める要望書を提出し、1時間ほど懇談しました。

「福祉タクシー乗車券(要介護者等)」とは、市内在住で要支援2、または要介護1~5の認定を受けている人が通院などで所定のタクシーを利用する際、船

引き上げ、猛暑から命を守るために夏季加算を新設するよう求める意見書

を中止するよう求める意見書

今年までにタクシー運賃の値上げが3回あったと訴え、▽助成上限額の引き上げ、▽要支援2~要介護2の人に対する支給枚数の

市は理解を示しながらも、「利用者が増えており、予算上難しい。他市では障害者のみを対象とする中、本市は幅広くカバーしている」と難色を示しました。また「介護予防の観点で高齢者の社会参加を促すため、支給枚数の引き上げを」という訴えに対しては、「年間12枚を使い切らない人の割合

日本共産党船橋市議団主催

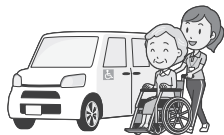
法律相談

9月19日(木)
10月24日(木)

弁護士が相談を受けます
労働相談も受けています

会場：中央公民館
※会場が変更する場合がございます

時間：午後1時~4時
要予約 ☎436-3030



地域経済の活性化と 利用者目線での改善を

「高い」と回答。参加者は「12枚の制限がプレッシャーになり得る」と指摘しました。

現物給付化について、市は「事業者の負担になる」と答えたものの、タクシー協会や事業者に相談したことは無いと言います。また、「要支援1に切り替わったことに気づかず、誤ってタクシー乗車券を利用する方もいるため、現物給付化は難しい」とも答えましたが、そうしたケースは2%程度だと言います。

この制度は1978年、重度障害者などを対象に開始され、国や県の補助が無い中、市民の声を受けて段階的に改善されてきました。高齢化社会の進展とともに、その拡充は地域経済の活性化にも繋がります。利用者目線の改善を、今後も求めていきます。